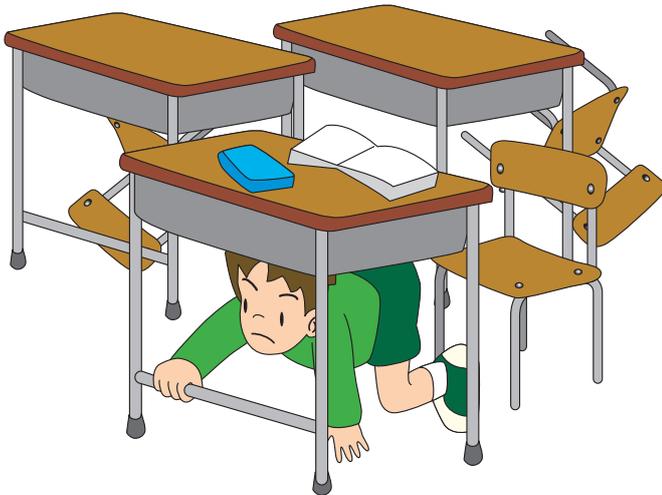


地震にそなえて

地震にあった時には「あわてない」「身を守る」「落ち着いて行動する」ことが大切です。学校、屋外、自宅などいろんな場所で、どんなことに注意して避難すればいいのでしょうか。

学校にいる時、地震が起きたら

避難する時の心がまえ



1. ゆれが大きいうちは机の下にもぐっていきましょう。
2. 座ぶとんや防災ずきんなどで頭を守りましょう。
3. 先生の言うことを聞いて行動しましょう。
4. 避難する時は、あわてずにみんなと一緒に行動しましょう。
5. 天井やたなの上から落ちてくる物や、窓ガラスに注意しましょう。

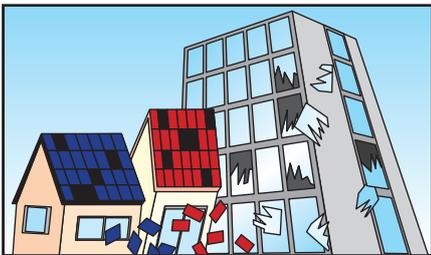
このほかに気をつけるべきことについて、話し合ってみましょう。

通学路の安全もチェックしておこう

学校の行き帰りなど、屋外で地震が起こった場合を考えて、あらかじめ通学路やその周りの危険な場所、避難できる場所などをチェックしておきましょう。

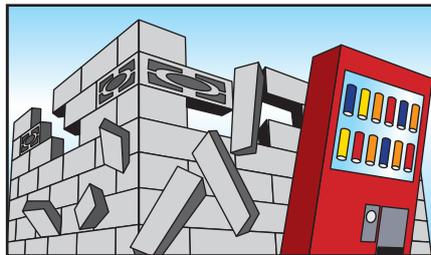
落ちてきそうなもの

屋根の瓦やビルの窓ガラスなど



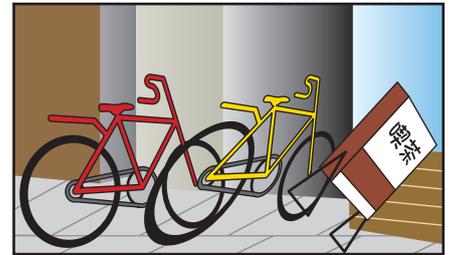
倒れてきそうなもの

ブロック塀や自動販売機など



道をふさぎそうなもの

自転車やお店の立て看板など



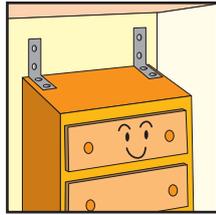
 MEMO: 学校にいる時や通学路で地震があった時の注意点をメモしておきましょう。

家の中やその周りも安全チェック！

大きな地震では、家具などが倒れたり、上から物やガラスが落ちてきたりして、たくさんの方がケガをし、中には命を失ってしまう人もいます。いざと言う時のために、危険なところはないか確認しておきましょう。

家具が倒れないように

タンス、本棚などの倒れやすい家具は、金具やつっぱり棒などで固定する。



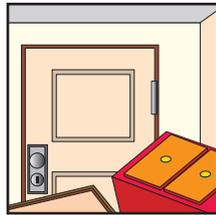
物やわれたガラスなどでケガしないように

食器棚などわれる物がある家具は、とびらが開かないように止め金具をつける。



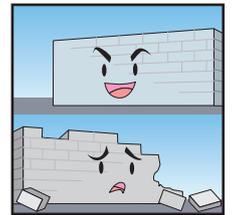
家の中に閉じこめられないように

逃げる時にドアをふさぐような場所に、家具など倒れやすい物を置かない。



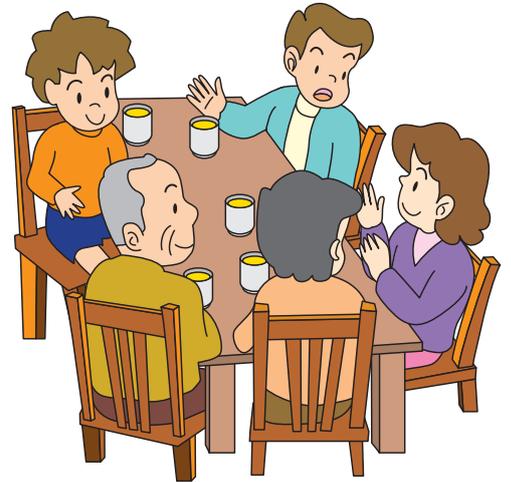
ブロック塀はしっかりしているか

家の周りのブロック塀が倒れにくいようになっているか、家の人に確かめる。



家の人と確認しておこう

とつぜんおそってくる地震について、家族で話し合ったことがありますか？ いざと言う時にどうすればいいか、ふだんから確かめておきましょう。



家は地震でこわれないようにがんばりにできているかな？

家の中で危ない場所はないかな？

避難場所や、そこまで行く安全な道はわかるかな？

地震が起きた時の待ち合わせ場所はあらかじめ決めているかな？

連絡方法は決めているかな？

避難場所に持っていくものはあらかじめ用意しているかな？

持ち出し品を用意しておこう

地震が起きたら、水道、ガス、電気などが使えなくなるかもしれません。そんな時のために、家族が3日間すごせるぐらいの水や食料、衣類などの持ち出し品を準備しておきましょう。



- 飲料水 マッチ・ライター ローソク 衣類 携帯ラジオ
- 懐中電灯(予備の電池も) 食料品 貴重品 救急セット
- 簡易ガスコンロ 雨具 トイレットペーパー など